

殿山第二小だより

令和 3年 7月 9日 第14号

枚方市立殿山第二小学校

TEL:050-7102-9044

先日の個人懇談会は、一学期初めての保護者の皆さまと対面でお話ができましたことに感謝申し上げます。

お伺いしましたことを今後の学校教育に活かしていくように考えていきたいと思っています。今後とも本校教育にご支援・ご協力いただきますようお願いいたします。

さて、あと10日あまりで、一学期を終えることとなります。二年続きのコロナ禍対応を行いながらの学校生活となり、予定していた学校行事もやむを得ず、延期や中止で、子どもたちにとっても、我慢の日が続く一学期です。

こんな、まだまだ予断を許さない社会状況ですが、以前発行しました“殿山第二小だより 第3号”「よく学び よく遊び その1」で述べさせていただいた私の願い

『殿山第二小学校児童418名が、日々の学校生活の中で「自身の出来ることは確実にやりきる。」「少し難しいことやしんどいことに挑戦する。」という二つの気持ちを持って、ねばり強く、努力を続けてほしいと願っています。』が、着実に子どもたちの中に浸透してくれていると感じる場面を多く見ることができ、大変嬉しく思っています。日々、発信していますホームページ・ブログにも掲載させていただいていますが、

一つ目は、児童会所属の子どもたちから順に広がり、6年・5年・4年・3年・2年・1年生へと「あいさつ」の音が響きわたるようになってきたことです。見守り活動を続けてくださっている地域の方々からも「元気がでるね。」と笑顔で子どもたちのことを褒めてくださり、とても嬉しく思います。

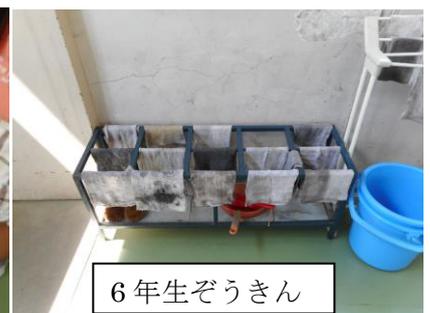
二つ目は、給食後、13:05～13:20の全校清掃時間、黙々と自身に割り当てられた掃除場所を美しくしてかれていることです。中でも6年生は、掃除道具を工夫して窓枠の隅のほこりを取り出してくれたり、自分の割り当て以外のところにも目を配りきれいにしようと働いてくれたりしている様子を見るにつけ、私はとても清々しい気持ちになっています。

三つ目は、コロナ禍で密集を避けるため、放送集会を行ってきましたが、各教室では、姿勢を正して話をきくことに集中できる子どもたちが増えてきたことです。「きくは、学びの始まり。」聞いた（聴いた）ことから、自分の頭で考えて、どのような言動をしたらよいのか、判断し、生活に活かすこと。これが大切なことと思います。

一学期もラストスパート。
「物事の始めから終わりまでをやりきる。」
という気持ちで、殿二小みんな
で頑張っていきましょう。



1年生ぞうきん



6年生ぞうきん

6年生の良いお手本を日々目にして話をきいていると、先生から言われなくても1年生も上手に自分たちでできるようになりました。素晴らしい！！